

平成16年6月30日

日本芸能のルーツ 神楽探訪ツアー発売開始

法人旅行札幌支店では、日本の伝統芸能である「神楽」にスポットをあてた旅行ツアーを株式会社ヌーベルフロンティアと共同企画し、7月1日から発売開始します。

札幌在住の神楽フィールドワーカー・三上敏視氏も同行し、初めての方でも「神楽」を存分にお楽しみいただけます。

第一弾は、岩手の霊峰・早池峰（はやちね）山麓に500年以上も伝わる「早池峰神楽」を探訪。

「神楽」は日本各地に伝承されており、法人旅行札幌支店&株式会社ヌーベルフロンティアでは今後も神楽探訪ツアーを設定する予定です。

☆☆☆☆☆☆☆☆ 第一弾「早池峰神楽」探訪ツアー 概要 ☆☆☆☆☆☆☆☆

ご出発日 7月31日(土) <~ 8月1日(日) 一泊二日>
旅行代金 大人お一人様 ¥61,000 <一泊四食>
募集人員 25名様(最少催行人員15名様)
旅行企画 株式会社ヌーベルフロンティア
旅行主催 北海道旅客鉄道株式会社 法人旅行札幌支店
旅行行程 以下をご参照ください

旅行行程		食事
1	7/31 (土) 札幌 7:30 北斗4号 11:30 白鳥30号 14:55 はやて20号 15:33 同 早池峰神社例大祭 神楽鑑賞 18:00頃~23:00頃	朝○ 昼○ 夕○
2	8/1 (日) ホテル 10:00頃 バス 早池峰神社 本祭見学 11:30頃~14:00頃 バス 花巻市内見学 バス 花巻空港 18:00 JAL2834便 18:55 新千歳空港	朝○ 昼- 夕-

無料オリエンテーション

7月10日(土) 午後1時(札幌ビル) 予約制

神楽フィールドワーカー 三上敏視氏による「神楽の楽しみ方」講座を開催。

早池峰神楽とは……

早池峰神楽の起源……

早池峰（はやちね）神楽は岩手県の霊峰・早池峰山麓に伝わる大償（おおつぐない）と岳（たけ）の二つの神楽の総称で、昭和 51 年(1976 年)に国の重要無形民俗文化財に指定された日本を代表する神楽です。（今回訪れる祭りでは大償と岳の両方の神楽が奉納されます。）

記録資料等は現存していませんが、早池峰神社に文禄 4 年(1595 年)と記された獅子頭があること、早池峰山の修験先達をつとめた山陰家から伝えられたという長享 2 年(1488 年)の神楽伝授書があることから、少なくとも 500 年以上の伝統をもつ非常に古い神楽であるといわれています。

また、早池峰神社の開設が正安 2 年(1300 年)と伝えられているほど早池峰山信仰の歴史は古く、修験山伏が行った祈禱の舞が神楽となったともいわれています。

神楽の語源……

神楽という言葉は、神座（カムクラ）が変化したものと言われています。

神座とは天上の神々が降臨した際に身を宿らせるところという意味です。はじめは山や巨木などの自然物であったものが、次第に神社などの人造物を指し、やがては臨時的に設けられたものや面・装束・採物をつけた舞人そのものをも神座と見なすようになったと考えられています。

神楽フィールドワーカー 三上 敏視氏プロフィール

愛知県生まれ。1978 年札幌に移り、元はちみつパイの和田博巳を中心に結成されたバンド「QUOTATIONS」でギタリストとして活動。

95 年より細野晴臣 & 環太平洋モンゴロイドユニットに参加。97 年より毎年このグループで伊勢・猿田彦神社の「おひらきまつり」で奉納演奏する。その後、「猿田彦大神フォーラム」世話人として全国の里神楽を見て歩き、その多彩さと深さに衝撃を受ける。またその成果を別冊太陽「お神楽」としてまとめる。

2004 年 6 月公開の松竹映画「天国の本屋～恋火」には天国の楽団メンバーとして出演。7 月に放映予定の NHK 国際放送（BS-1）の「Weekend Japanology」にピーター・バラカン氏と対談し、神楽解説を行う。

5 月にソロアルバム『MICABOX feat.Ayako Takato/ひねもす』をエイベックスからリリース。

